

平成 21 年度情報処理軽井沢セミナーレポート  
( 研修テーマ : Shibboleth によるシングルサインオンの実現 )

お茶の水女子大学 情報基盤センター  
高橋いづみ

## 1. 課題発表タイトル

Shibboleth によるシングルサインオンの実現へむけて

## 2. 課題の概要

別添ファイルをご参照願います。

## 3. セミナーで学んだ技術及び知識

### (1) シングルサインオンの基礎知識

～Shibboleth の概要、IdP、SP の機能、フェデレーションとは～

- ・ Shibboleth を支える認証基盤技術
- ・ シングルサインオンの基礎知識 ～学術認証フェデレーションについて～
- ・ シングルサインオンの基礎知識 ～Shibboleth の概要～

### (2) 図書館向けのシングルサインオン活用事例

～EZ Proxy との違い、図書館サービスへの活用・デモなど～

- ・ SSO 推進における図書館員のコミットメント

### (3) IdP、SP 構築実習

- ・ サーバ構築
- ・ LDAP データとの連携
- ・ 属性情報の交換、IdP・SP の連携

### (4) シングルサインオン導入事例と導入戦略

#### ① 情報センターと図書館の協力、UK の事例など

- ・ JISC と UK-FAM について
- ・ UK 事例紹介

#### ② 山形大学 UPKI 認証基盤の状況

## 4. セミナーの成果

今まで知らなかった事柄や断片的だった知識を、集中的に講義を受けることで、一連の流れとして理解することができました。また、2チームにわかれ IdP、SP サーバを構築したことにより、実際の構築手順を知ることができました。所属機関でのサーバ構築へ向けて、とても良い参考になったと思います。

## 5. 事前準備として知っておいた方が良かったと思われること

所属機関の環境や問題点について、事前にもっと把握してから参加すべきだったと思います。

## 6. セミナーの感想

知識や技術面での力量不足が大きく、皆さんにご迷惑をおかけすることも多く反省しております。しかし、参加人数が少ない研修だったこともあり、集中して受講、実習をすることができました。夜遅くまでかかりましたが、2チームとも実際にサーバ構築も成功し、充実した研修だったと思います。今回のセミナーで学んだことを自分の大学でも活用していきたいと考えています。ただし、実習日程が1日しかなく、少なくともあと1日は欲しかったです。

## 7. 備考・その他

このようなセミナーを企画、運営して頂いた国立情報学研究所の関係者の皆様と講師陣の皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

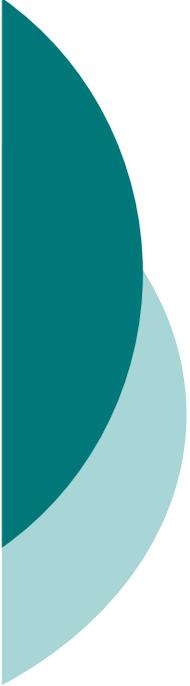


# Shibbolethによる シングルサインオンの実現へ向けて

---

平成21年度情報処理軽井沢セミナー  
於軽井沢国際高等セミナーハウス  
2009年9月5日

お茶の水女子大学 情報基盤センター  
高橋いづみ



# 目次

---

- 本学の紹介
- 学生に対する情報教育
- 図書館関連
- 学内での認証ネットワーク
- シングルサインオンが活用できそうなサービス
- 予想される問題点
- 本学のIdP構築の状況
- 今後の計画

# お茶の水女子大学について

- 所属人数

学生 約3200名

教職員 約500名

少人数制！

- 附属学校

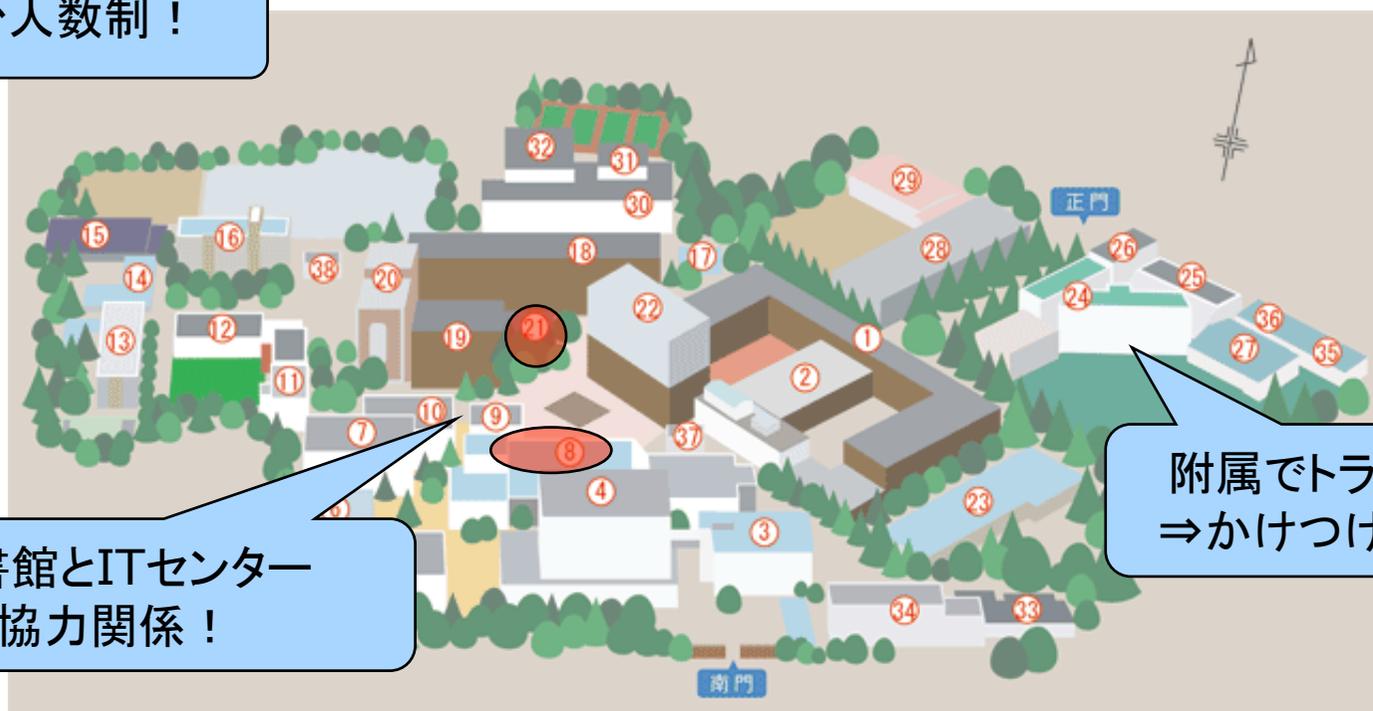
いずみナーサリー

附属幼稚園，附属小学校

附属中学校，附属高等学校

図書館とITセンター  
協力関係！

附属でトラブル  
⇒かけつける！



# 学生に対する情報教育

---

- 学部新生を対象
  - ーノートパソコン貸与
    - ・貸与パソコン相談室の講習会
  - ー情報処理演習
    - ・リテラシー教育

IdP、SPに関する説明も・・・？



# 図書館関連

---

- ラーニング・コモンズ
  - ー 学生用パソコン
    - Mac端末32台
    - Windows端末29台
  - ー 持ち込みPCで有線・無線LAN利用
- 学外からの電子ジャーナルの利用
  - ー 学内のプロキシサーバー経由による利用
  - ー 学外アクセス専用アカウント
- オンラインサービス
  - ー 蔵書検索、予約、貸出・予約の確認と延長、図書購入申し込みなど





## 学内での認証ネットワーク

---

- お茶大アカウント(1人につき1つ)利用の端末
  - －Mac端末230台
    - 2006年から教育用端末をiMacに刷新し、ICカード「FeliCa」(フェリカ)とNetBootを組み合わせた認証システムを導入
      - 学生用iMac150台
      - 教職員用iMac80台
  - －Windows端末約100台
- 有線・無線LAN(RADIUS+LDAP)
- Web Application(CAS+LDAP、LDAP)

# シングルサインオンが 活用できそうなサービス

## ◆現状、学内で利用できるサービス

- ・ITセンター管理の端末
- ・メール
- ・認証ネットワーク
- ・図書館サービス
- ・シラバス入力
- ・学生ポータル
- ・Moodle
- ・キャリアレポート放送局
- ・証明書発行機
- ・大学が契約している電子ジャーナル
- ・ガルーン、デヂエ
- ・会計くん

## ◆お茶大アカウントを利用

- ・パソコン利用
- ・メール
- ・認証ネットワーク
- ・図書館サービス
- ・シラバス入力
- ・学生ポータル
- ・Moodle
- ・キャリアレポート放送局
- ・ガルーン、デヂエ

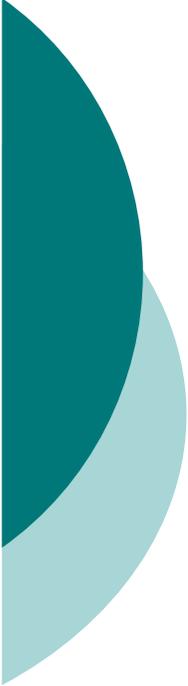
シングルサインオン



# ShibbolethによるSSOへむけて 予想される問題点

---

- 学内的には・・・
  - －やはり内部の情報を外部に出したくないという意見があるかも・・・
    - ⇒ どう説得していくか？
  - －各部署、学科との連携が必須
  - －保守運用にはマンパワーが足りないかも
    - ⇒ IdPホスティングサービスとかあったら嬉しい
- 技術的には・・・
  - －シングルログアウトはどうするのか？
  - －全学統合認証(LDAP/CAS)との連携



# 本学における IdPホストマシン、ゲストマシンの構築

現在、NIIのテストフェデレーションへ参加中

- IdPホストマシン構築
    - 仕様: Dual-core AMD(2.0GHz), メモリ2GB
    - OS: CentOS5.2
    - アプリケーション: VMwareSer2
  - 構築に関する感想
    - 他大学からの報告によって、マニュアル等の不備に関する情報をすんなり入手できて良かった。
- 
- IdPゲストマシン構築
    - NIIより配布のVMwareイメージを利用
  - 構築に関する感想
    - Wikiに構築過程に関するいろいろな情報がもっと還元されていると助かる。

# 今後の計画

---

- 今後取り組みたいのは、
  - SPの構築(まずはMoodle)
    - 他大学とも連携して、授業用コンテンツの有効活用を目指したい
  - 全学統合認証(LDAP/CAS)との連携
    - どのような運用にしていくべきか今後の課題

Shibbolethとの  
連携

テストフェデレーション



運用フェデレーション？